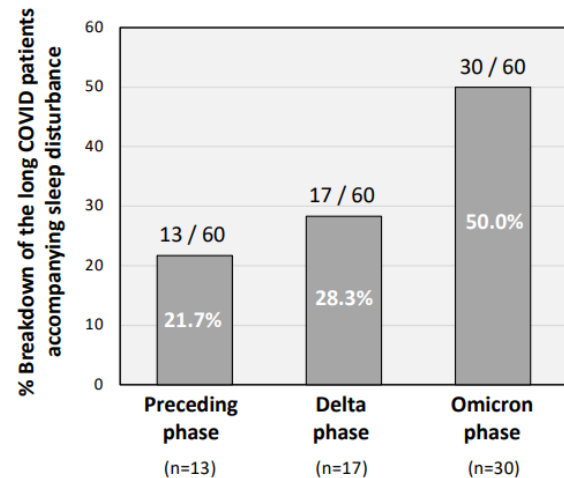


コロナ後遺症における睡眠障害の特徴に関する研究

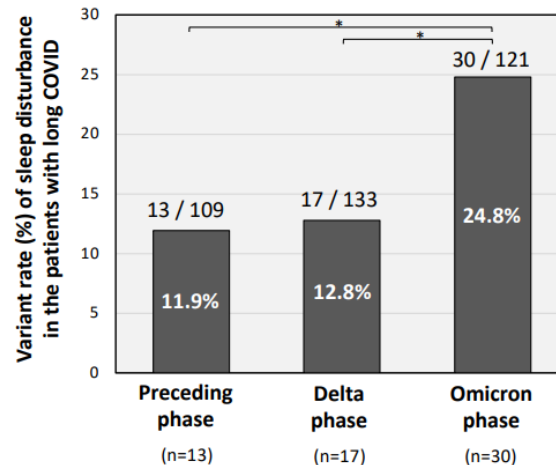
新型コロナ後遺症の一つに睡眠障害がありますが、その臨床的な特徴はまだ分かっていません。我々は、当科のコロナ・アフターケア外来を受診した患者さんを対象に、睡眠障害の臨床的および内分泌学的特徴について検討しました。その結果、睡眠障害を訴える患者は、デルタ株流行期以前よりも、オミクロン株流行期に感染した患者で多く見られました。

睡眠障害を訴える患者さんには、倦怠感、頭痛、集中力低下、不安感、微熱やブレインフォグといった症状を伴いやすく、睡眠障害のある患者ではストレスに関係するホルモンの変動が見られました。今後、後遺症の病態を明らかにするうえで重要な研究結果と考えています。

A



B



睡眠障害を訴える患者の割合は、デルタ株以前よりも、オミクロン株の流行期に感染した患者で多く見られました。